

他部局における食品ロス等に関する取組(令和4年度)

	担当課・担当班	事業名等	具体的取組内容
1	食品安全課 食品衛生班	食の安全総合監視指導事業	保健所で開催する食品衛生責任者新規養成講習会及び更新時講習会等において、食品ロスのチラシを掲示することで、普及・啓発を行った。
2	健康推進課 健康対策班	栄養施行事務事業 健康食育推進事業	みえの食生活指針に「調理や保存に工夫し、無駄や廃棄を無くしましょう」を掲げ、食生活での実践について普及・啓発を行った。 給食施設管理者及び従事者対象の研修会や巡回指導において食品ロスに関する普及啓発を行った 食育活動の推進において、各種イベント等の機会を通じて、食品ロスの問題も意識した啓発を行った。
3	地域福祉課 地域福祉班	セブン・イレブン・ジャパン、三重県社会福祉協議会との三者協定に基づく食品ロス削減の取組	セブン・イレブン店舗での改装時等に発生する在庫商品の一部(加工食品や雑貨等)を、三重県社会福祉協議会を通じて市町社会福祉協議会に寄贈することにより、食品ロス削減への対応や地域福祉の推進を図った。
4	フードイノベーション課 地産地消・ブランド推進班	地産地消の絆と地域内流通支援事業 「みえの食育」推進事業	食育の推進を通じた食品ロス削減の取組として、以下のとおり取り組んだ。 ・国の「第4次食育推進基本計画」の目標達成に向けて、地域の関係者が連携して取り組む、農林漁業体験機会の提供、食文化の保護・継承のための取組支援、食育推進リーダーの育成などの取り組みを支援した。 ・上記事業の実施主体を構成員とする「三重県食育推進検討会」を開催し、先進事例の紹介、活動情報の共有を行った。 ・学校給食における地場産品の導入促進に向けた検討会を実施するとともに、県産食材を紹介する教材「みえの食材」を2品目(伊勢茶、しめじ)を作成した。
5		食育・地産地消と連携した消費者教育推進事業	新たに食品ロス削減の目標も盛り込んだ「第4次三重県食育推進計画」を分かりやすくまとめた普及啓発冊子「食育ノート」を様々な場面で活用し、消費者への食育の普及を行った。毎日新聞広告枠にて、食育ノートでとりまとめた「食品ロス削減」の記載内容を掲載した。
6		県内事業所の社員食堂等における食育推進事業	第4次県食育推進計画で掲げた「全世代を対象とした食育(食品ロス削減も含む)」の推進に向けて、以下の取組を実施した。 ・地産地消による地域社会への貢献と企業の健康経営の推進を目的として、昨年度実施した「みえの地産地消・食育推進モデル事業」の紹介等を通じて、県内の他事業所1件の社員食堂等での取組を展開した。
7	フードイノベーション課 イノベーション促進班	SDGsに配慮した県産食材の情報発信と販路拡大 (東京オリパラへの取組を生かした「みえのブランド」強化事業の細々事業)	量販店やネット販売事業者、飲食店事業者、ホテル等を対象に、SDGsに配慮したGAPなどの国際認証等を取得した三重県産農林水産物の商談会とGAPなどの国際認証制度等に関する研修会を開催した。
8	保健体育課健康教育班	学校給食における食品リサイクル推進・食品ロス削減モデル事業	・指定校である特別支援学校伊賀つばさ学園の児童生徒を対象に魚・畜産・廃棄物処理などをテーマにした授業を行った。 ・給食で出た野菜くず等を肥料化し、栽培活動に使用した。 ・教職員等を対象にモデル事業の狙いとして食品ロスや環境学習をテーマに研修をした。
9	県産品振興課 県産品販売促進班	地場産業のエシカル商品販売促進事業費	エシカルに取り組む先進企業やSDGsに関心の高い学生等と連携し、社会的ニーズが高まりつつある「エシカル消費」に対応した商品を開発した。 また、メディアやオンラインを活用して、開発したエシカル商品の価値やストーリーを消費者に向けて発信するとともに、県内外のショップにおいて、商品の展示販売やワークショップ(体験)を行うプロモーションを実施した。
10	くらし・交通安全課 消費生活センター班	消費者啓発事業	消費者団体、事業者団体、教育機関、市町等さまざまな主体と連携して消費生活に関する啓発活動を実施する中で、エシカル消費についての普及啓発を行った。 ① エシカル消費CMを制作し、各種SNSやWeb広告にて配信 ② みえエシカル消費普及セミナーの開催 ③ フェアトレードボールを県立学校に配布し、生徒へのエシカル消費啓発を促進 ④ 消費生活出前講座や青少年消費生活講座等における情報提供 ⑤ 啓発パンフレットの配布等 ⑥ 市町や「みえ・くらしのネットワーク」、「消費者啓発地域リーダー」等への情報提供 ⑦ 県ホームページを活用した情報提供 ⑧ 消費者庁ホームページ(エシカル特設サイト)に県での取組事例を掲載